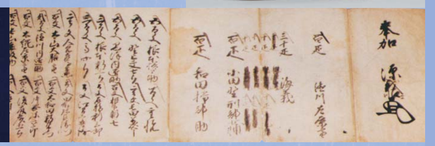
常陸大宮市文化財マップ



天然記念物

Map C-2

⑫ 三浦杉 【県指定】【小田野・吉田八幡神社】 2株

周囲約9m、樹高58m、樹齢約850年。樹齢約850年にもかかわらず、空洞、屈曲がなく現在も伸びつつある。

Map B-1

⑭ 鷲子山上神社のカヤ 【県指定】【鷲子・鷲子山上神社】

周囲 5.3 m
樹高 約 25 m
樹齢 約 600 年

Map E-6

⑬ 鏡岩 【県指定】【静山】

断層でできた岩の平滑な面であるが、現在は風化が激しい。『常陸国風土記』に見える「石鏡」に比定されている。

Map F-6

⑨③ えのき 【鷲子】 1本

周囲 3.3 m
樹高 20 m
樹齢 推定 300 年

Map B-5

⑨① はぜの木 【盛金】

胸高 直径約 1.55 m、1.25 m
高さ 約 15 m
樹齢 約 150 年（推定）

Map D-5

⑧⑨ カヤの木 【山方】

胸高 周囲約 6.8 m
高さ 約 25 m
樹齢 約 400 年以上（推定）

Map D-5

⑧⑦ カヤの木 【山方・密蔵院】

胸高 周囲約 3.9 m
高さ 約 20 m
樹齢 約 380 年以上（推定）

Map E-3

⑨④ 吉岡の榧 【小瀬】

樹高 20 m
樹齢 推定 350 年

Map E-3

⑧⑤ 江畔寺のイチョウ 【小瀬・江畔】

外周 5.66 m
樹高 35 m
樹齢 450 年

Map E-2

⑨⑤ 鹿子の木 【船之原・自然神社】

樹高 18 m
樹齢 130 年

Map D-6

⑨⑨ 漆の木 【山方】

現状は 2 本ある。
左 胸高 直径約 36 cm
高さ 12 m
右 胸高 直径約 41.5 cm
高さ 13 m

Map G-2

⑨⑧ 志殿杉 【上伊勢畑】

周囲 4.8 m
樹齢 不詳（推定 500 ～ 600 年）

Map G-6

⑨⓪ 大けやき 【北町】

周囲 6 m
樹高 30 m
樹齢 推定 400 年

Map B-5

⑨② 八房梅 【盛金】

めしべが 8 本前後あり、子房が互いに半ばは合着しているため、8 個前後の実が房状になる梅の珍種。

周囲 3.3 m
樹高 4 m
樹齢 約 200 年（推定）

工芸品

Map -

㊴ 軍配 2振

【県立歴史館】 宇留野城跡に建ち宇留野氏の氏神を祭る日向神社に宇留野氏が奉納したとの伝承を持つ、戦国時代の軍配。石は木製漆皮金箔塗、全長50.0cm。左は木製黒漆皮、現存長46.0cm。

Map G-6

⑥ 能面（6面） 【県指定】【下町・甲神社】

関東では数少ない室町時代初期の能面で、材質はヒノキ。

Map D-6

㉞ 五輪塔 【山方・常安寺】

天正19年（1591）佐竹義宣はいわゆる「三十三館仕置」により常陸の統一を成し遂げたが、その過程で山方で殺害した鹿島城主鹿島清房（清秀が正しいとも）父子の墓として建立したもの。高さ約 2 m。

歴史資料

Map G-6

⑦ 佐竹義昭奉加帳 【県指定】【下町・甲神社】

弘治 3 年（1557）、甲神社別当海義が佐竹氏の家臣団に対して奉加（寄付）割当をした帳簿で、佐竹第18代義昭がこれに許可を与えている。寄付の実態も追記。

Map G-2

㊼ 馬頭観音 【上伊勢畑】

寛政 10 年（1798）建立で、海産物を運ぶ会瀬村、河原子村などの商人が旅の安全を祈って建立したものである。

Map F-3

㊻ 板碑 【野口】

岡郊臣三尊の梵字が彫られた、鎌倉末の紀年銘を伝える石造物である。

Map G-6

㊹ 源氏系図 一巻

【下町・甲神社】 天文年間（1532 ～ 55）、部垂城主佐竹義元が奉納したと伝えられる清和源氏の系図。

Map G-6

㊾ 青い目の人形（クリッシー） 【資料館大宮館】 像高 35 cm、昭和2年（1927）、日米親善の使節として アメリカから贈られたもので、当時の大正デモクラシーの雰囲気を反映した、同様の人形の多くが太平洋戦争中、敵国からの贈り物として処分されても、戦争と平和の間で生きのびた貴重な資料である。

有形民俗

Map C-1

㊶ 花輪組の屋台 【鷲子】

本体の長さ5.55 m、幅2.7 m、高さ4.33 m、車の直径1.43 m、全体に見事な彫刻を施す。

Map F-3

㊷ 下小瀬歌舞伎舞台 一式 【下小瀬】

絵襖のほか仮設舞台用材一式、回り舞台装置、本床、引き幕、水引幕、袖幕、格子戸、衝立、滑車等を含む。

Map G-6

㊶ ささら獅子頭 3点 【県指定】【資料館大宮館】

雄獅子が 2 頭、雌獅子が 1 頭、桐材を巧みに彫刻してある。

Map F-4

⑩ 西塩子の回り舞台 一式 【県指定】

「西塩子之一九大之舞」の舞台を囃し、結びえと組み立てられた巨大なドーム型の舞台で、舞台の天幕に江戸時代後期の年代を示す「文政三一 8 2 0 年」の文字が染められていることなどから製作時代が推定され、日本現存最古の組立式歌舞伎舞台といわれる。平成9年に復元して歌舞伎等の上演を実施、現在も定期的に組立て上演が行われている。

絵画

Map F-2

⑭ 格天井の絵画 【長福・薬泉寺】

将野狩野派家津村雨林作、同じ作になる板戸絵もある。

Map C-1

⑫ 親鸞聖人一代絵巻（4巻） 【鷲子・照願寺】

親鸞聖人の生涯を描いた絵巻物で、「親鸞聖人伝絵」と呼ばれる。永仁3年（1295）に初めて作られたあと、写本が多数作られた。本資料は板東報恩時本を江戸時代に写したもの。

彫刻

Map -

⑰ 泉正観世音像 【県立歴史館】

寄木造で像高 1 0 5 . 8 cm、均整がとれ、衣や体の起伏は適度に写実的。鎌倉時代（13世紀中ごろ）の作。背面に徳川光圀が修復させた旨の刻銘がある。

Map G-6

㉝ 木造釈迦如来坐像 【県指定】【長福・薬泉寺】

調査の際に、本尊の胎内から発見された、絵図・銘文・墨書などから、平成の修復の際に作られたものと判明した。

Map G-6

⑤ 木造聖徳太子立像 【県指定】【石塔・長福寺】

銘のある太子像の中でも、造作年代がわかる数少ない参考品。常福寺には他に木造阿弥陀如来立像1体（県指定）がある。

Map F-3

③ 木造阿弥陀如来脇侍三尊像 【県指定】【園長・阿弥陀院】

阿弥陀如来 像高 82.9cm
観音菩薩 像高 102.8cm
勢至菩薩 像高 100.8cm

Map B-2

⑲ 空智上人坐像 【小田野・三浦神社】 像高 76cm。室町時代後半の作。空智上人は鎌倉時代のはじめの人で、三浦神社の前身である永福寺（浄土真宗）の開山とされる。

Map C-4

㉑ 薬師如来坐像 【上檜沢・満福寺】 像高 96cm。寄木造玉眼入。鎌倉時代。春日作。

Map C-1

② 聖徳太子立像 【県指定】【鷲子・照願寺】

像高 103cm。檜材寄木造。鎌倉時代作。

Map D-5

㉒ 聖徳太子像（孝養像） 【山方】 正平は十七年（1362）の刻銘があり、現在安置されている場所につって浄土真宗寺院があったが、江戸時代に廃寺になった。風化が進んでいる同所には同時期の如来像もある。

Map H-7

⑱ 了誉聖問禅師座像 【上岩瀬・誕生寺】

由来によると元禄 7 年（1679）常福寺第 26 代明誉了智が報恩のため造立したとある。

Map F-2

㉗ 欄間の彫刻 【長福・薬泉寺】 欅一枚の透かし彫りである。蓋泉寺には他に涅槃図がある。

Map G-4

㉙ 狛犬 【野口・佐伯神社】

室町時代の天永 4 年（1524）に奉納されたものである。

Map B-7

㉔ 子安地蔵尊 【鷲子】

像高35 cm、彩色の施された、子を抱く姿の地蔵菩薩立像。

Map E-3

㉘ 江畔寺地蔵菩薩坐像 【上小瀬・江畔寺】

元禄 6 年、徳川光圀が江畔寺に去作地蔵一駆寄付すると「常山文集補遺」に記載されており、本像がこれに該当すると考えられる。

Map G-2

㉚ 七面大明神 【松山・妙運寺】 妙運寺の寺宝で、徳川光圀寄進の銘があり、常陸太田の久昌寺住職、日浄に造らせたもので金箔が使用されている。

Map F-1

㉜ 山車 【野田・鹿島神社】

例祭に運行される山車。鷲子の住人・小林平衛門の手になる彫刻が施されている。明治時代の作。

考古資料

Map G-6

㊻㊼㊿(51) 硬玉製大珠

【資料館大宮館ほか】
いずれも拝井上遺跡出土。縄文時代中期。硬玉（ヒスイ）は新潟県糸魚川市の姫川産で、当時の遠隔地交易を示している。8 点は 1 遺跡からの出土数として全国最多。

Map D-6

㊸(53) 山方遺跡出土旧石器 石核石器 2点 【資料館山方館】

珪質頁岩製の握斧で、後期旧石器文化の古い様相を示す。昭和 39 年（1964）に発見され、茨城県の旧石器文化研究に大きく貢献した、学史的にも貴重な資料である。

Map G-6

㊷(52) 泉坂下遺跡再葬墓遺構出土物

【資料館大宮館】 平成8年（1996）の調査で、弥生時代中期の再葬墓が7基確認され、その中から人面付一点を含む壺形土器47点と玉類が出土。再葬墓は土葬して骨のみにした遺体を土器に納めて再度埋葬した墓。

史跡

Map C-1

(75) 親鸞聖人見返りの桜

【鷲子・照願寺】
周囲 21 m、樹高約 13 m、樹齢約 300 年。

Map F-6

(71) 小祝耕塚古墳 【小祝】

前方部はほとんど削平されているが、主軸長約 90 m の前方後円墳と推定されている。古墳が大型化する古墳時代中期（5 世紀）の所産。多くが湮滅したが、かつては付近に十数基の古墳が存在した（耕塚古墳群）。

Map G-4

(80) 時雍館跡 【野口】

徳川斉昭が設置した郡校の一つで、弘化元年（1844）に建設が始められ嘉永 3 年（1850）に開館した。

Map F-5

(72) 八田雷神山横穴群 【八田】

横穴墓 5 基が 2 段に構成されている。写真の 1 号墓は上段にある、玄室天井がドーム形をした横穴墓。7 ～ 8 世紀。

Map F-4

(71) 百観音 【那賀】

全山に点在する観音像は現在約 90 基が確認されているが、100 基あったといわれている。山の中腹の横穴には、観音像 36 基と大日如来像 1 基が安置されている。

建造物

Map D-4

④ 鹿嶋神社本殿

【水之沢・鹿嶋神社】 神社は明徳 2 年（1391）創建。本殿は元文元年（1736）12 月に建立。一間社流造銅板葺。

Map C-2

⑦ 吉田八幡神社本殿

【小田野・吉田八幡神社】 神社は大同 2 年（807）創建。本殿は寛永 13 年（1636）に建立。二間社流造入母屋向拝唐破風造銅板葺。

Map C-3

① 間宮家住宅主家 【国登録】【高部】

明治 30 年代初期に建築されたといわれる木造 2 階建て入母屋造りの家屋に、明治 35 年（1902）、3 階建ての洋風建築を増築したもの。特に増築部分は改変もなく、当時の洋風建築として貴重なものである。

Map C-3

① 諏訪神社本殿

【高部・諏訪神社】 神社は大同元年（806）創建。本殿は享保 6 年（1721）7 月建立。二間社流造拝唐破風銅板葺。

Map F-4

② 那賀鹿島神社本殿

【那賀・鹿島神社】 江戸時代の元和 6 年（1620）に社殿の造営が行われ、この時につくられた本殿四方の彫刻は、日光東照宮を造営した彫刻師によるものと伝えられている。

Map B-1

① 鷲子山上神社随神門

【県指定】【鷲子・鷲子山上神社】 神社は大同 2 年（807）創建、随神門は文化12年（1815）に建立。三間一戸の楼門で入母屋造銅板葺。

Map B-1

① 鷲子山上神社本殿 【県指定】【鷲子・鷲子山上神社】

神社は大同 2 年（807）創建。本殿は天明 8 年（1788）建立。三間社流造銅板葺。

常陸大宮市文化財マップ（改訂版）

文化財愛護シンボルマーク

発行日 平成24年8月31日
発行者 常陸大宮市教育委員会
〒319-2292
常陸大宮市中富町 3135-6（市役所内）
☎ 0295-52-1111（代表）

《問い合わせ先》

常陸大宮市教育委員会生涯学習課（上記）			
常陸大宮市歴史民俗資料館			
大宮館	〒319-2292	常陸大宮市中富町1087-14	☎0295-52-1450
山方館	〒319-3192	常陸大宮市山方 969-2	☎0295-57-2616
山方事務所	〒319-3192	常陸大宮市山方660	☎0295-57-2903
美和事務所	〒319-2692	常陸大宮市高部5281-1	☎0295-58-2142
緒川事務所	〒319-2492	常陸大宮市上小瀬1259	☎0295-56-5111
御前山事務所	〒311-4592	常陸大宮市野口3195	☎0295-55-2116

R100 古都パルプ配合率100%再生紙を使用